

## 野火止用水でリフレッシュコース

コース概要 ● 約 5.6km 約 8,000 歩 所要時間：約 84 分 消費カロリー：約 252kcal

## ウォーキングついでに健康遊具で若返りコース

コース概要 ● 約 5.0km 約 7,140 歩 所要時間：約 75 分 消費カロリー：約 225kcal

自然豊かな野火止用水・野火止緑地を歩き、公園の健康遊具で楽しくちょっと若返り、心も体もリフレッシュ！これぞまさに健康ウォーキング！コース 2 選



### ① 青梅橋跡 (市指定文化財) (→P.25 をご参照ください)

### A 野火止用水ホテルの里 (→P.4 をご参照ください)

### ② 野火止緑地

承応 4 (1655) 年に、玉川上水から分水して作られた野火止用水は、急速な都市化による水質悪化や水不足で分水が止められましたが、昭和 59 (1984) 年、清流復活事業により流水が復活しました。

野火止緑地は市の南端、小平との市境に位置し、入口に「清流復活の碑」が立てられています。そこから、ゆりのき通りに架かる東野火止橋までの



約 1km の間に、クヌギ、コナラなどの雑木林が広がり、かつての武蔵野台地の雑木林を彷彿とさせる風景が広がっています。親水スポットやベンチなども設けられており、散策を楽しむ人の姿も多く見られます。

中ほどにある野火止橋の脇には、市のモニュメント「用水工夫」の像が設置されています。



### ③ 健康遊具 (清原南公園・清原西公園)

市では、市内の 5 つの公園に健康遊具を設置していますが、「リフレッシュコース」はそのうち 2 か所、「健康遊具で若返りコース」はそのうち 3 か所に立ち寄るルートになっています。

ここでは、清原南公園・清原西公園について紹介します。

両公園には、それぞれ 4 種の健康遊具が設置されています。

ウォーキングで立ち寄ったら、健康遊具で体をリフレッシュしてはいかがでしょうか。



### ④ 上仲原公園

東部土地区画整理事業で整備され、昭和 56 (1981) 年に開園した、約 4 ヘクタールの広さをもつ市立公園です。

市の木であるけやきの木が象徴的に植えられていて、野球場、テニスコート、大きなはらっぱ (バスケットゴール)、見晴台、子供向け遊具、遊歩道など幅広い年齢層の利用者が楽しめる公園です。ラジオ体操にも利用され、球場では秋にふれあい市民運動会も開催されています。

野火止緑地、水道緑地、仲原緑地などが近くにあり、市民の憩いの場になっています。



### ⑤ 仲原緑地

仲原二丁目から仲原四丁目の住宅地の中を、市立第三中学校から仲原西公園まで、東西に抜けていく草木に囲まれた小道が続く仲原緑地。西にはモニュメントの「きつねの嫁どり」が設置されています。

その隣にあるみどりっ子仲原店で、市内農家の新鮮で安全な野菜・果実など、お土産にいかがでしょうか。

### ⑥ 東大和市民会館ハミングホール (→P.34 をご参照ください)

#### かきもり いなり かきもり いなり 瘡守稲荷と笠森稲荷

東大和市駅近くにある瘡守稲荷と高木地区にある笠森稲荷の読み方が同じという、お稲荷様のおはなし。

昔、病気を患った人が瘡守稲荷にお参りしたところ、あつという間に治ったことから、その人の住む高木にも同じお稲荷様を祀ろうと、伏見稲荷の別当寺である愛染寺から勧請してきたのだそうです。



瘡守稲荷



笠森稲荷

#### 用水の開削

幕府老中だった川越藩主・松平信綱は、承応 2 (1653) 年に玉川上水を開削。その後、玉川上水から領内の野火止への分水が許され、承応 4 (1655) 年に、工期わずか 40 日で野火止用水を開削しました。

前後して川越藩では大規模な新田開発を行い、用水開削によって生活が豊かになったことに感謝し、野火止用水を、信綱の官名である「伊豆守」にあやかって「伊豆殿堀」「伊豆堀」と呼ぶようになったそうです。